

	名 称	所在地	建設年代	特徴等	種 別	基準	
1	札幌市旧三菱鉱業寮	北海道札幌市	S12頃/S60・H29改修	永山（ながやま）記念公園にある鉱山会社の旧福利厚生施設。木造二階建て、切妻（きりづま）造りの洋館で、内部は上下階とも中廊下を通し、和室の宿泊室等を配する。戦前の民間企業倶楽部の遺例として貴重な存在。	建築物	住宅	2
2	宮城野（みやぎの）納豆製造所 納豆及び納豆菌製造棟	宮城県仙台市	S9頃/S10代増築、H29改修	市街地近郊にある大正9年創業の食品工場。敷地中央に南面して建つ製造棟は切妻造り平屋（ひらや）建ての東棟と寄棟（よせむね）造り二階建ての西棟からなり、東棟を作業場、西棟を事務所兼居室とし、東棟の西側北半に切妻造り平屋建ての熟成棟を接続して一体的かつ効率的な業務空間を形成する。さらに製造棟西棟の西側には大豆貯蔵庫である石蔵及び豆小屋、同東棟の東側には休憩室が並び建ち、近代食品工場中枢部の構成を伝えている。また、休憩室の南側に建つ切妻造り平屋建てのボイラー室と、ボイラー室南東方の敷地境に建つ片流れ屋根平屋建ての垂炭小屋が近代町工場における動力設備の様相を示す。車庫は敷地西南隅に東面して建つ切妻造り妻入りの平屋建てで、昭和初期における製品配送手段としての自動車の普及を物語る。	建築物	産業2次	1
	宮城野納豆製造所熟成棟		S9頃/S20代増築、H29改修		建築物	産業2次	1
	宮城野納豆製造所石蔵（いしぐら）及び豆小屋		S9頃/H23・同29改修		建築物	産業2次	1
	宮城野納豆製造所休憩室		S前期		建築物	産業2次	1
	宮城野納豆製造所ボイラー室		S25頃/S中期増築、H17改修		建築物	産業2次	1
	宮城野納豆製造所垂炭（あたん）小屋		S25頃		建築物	産業2次	1
	宮城野納豆製造所車庫		S前期		建築物	産業2次	1
3	臣屋（しんや）阿部家住宅主屋	宮城県石巻（いしのまき）市	M14/S25増築	田代島（たしろじま）南部の高台にある網元の住宅。主屋は敷地中央に南面して建つ入母屋造りの平屋建てで、正面に玄関と応接室を突出する。主屋正面の階段脇に建つ隠居屋は二階にまわす手すり付き出窓（でまど）をアクセントとして漁家（ぎょか）の屋敷構えに近代的な彩りを添える。石巻湾の島嶼（とうしょ）集落の歴史的景観を形成する民家である。	建築物	住宅	1
	臣屋阿部家住宅隠居屋		S29		建築物	住宅	1
4	壽丸（すまる）屋敷店蔵（みせぐら）	宮城県白石（しろいし）市	M後期/H17改修	白石旧城下中心部の元商家。店蔵は街路に西面して建つ切妻造りの土蔵造り二階建てで、重厚かつ均整の取れた外観とする。主屋は店蔵背面に南面して建つ平屋建てで、正面の玄関脇に洋風応接間を設け、西側に上座敷棟、東側に二階建ての別棟を付す。白石城下の商家の伝統的な構成を伝えている。	建築物	産業3次	1
	壽丸屋敷主屋		T10頃/S39増築		建築物	産業3次	1
5	玉幸（たまこう）	宮城県白石市	M後期/T14改修	市街地東部にある明治前期創業の料亭。敷地中央に北面して建つ玄関棟の東前方に居住棟を連ね、東背面と西面に接続する東棟と西棟に客間を設ける。戦前の町の賑わいを伝える大規模和風建築。	建築物	産業3次	1
6	旧採進堂（さいしんどう）酒店主屋	福島県福島市	M31頃/S10頃・同50代増築、S30代改修	飯坂（いざか）温泉中心部の元小売店舗。主屋は街路に北面して建つ切妻造りの二階建てで、二階正面に出格子（でごうし）と当地域特有の鑄（しのぎ）付きの出梁（だしばり）を備える。主屋背面に接続する土蔵は二階の座敷にケヤキの良材を用い、座敷飾りに黒柿を効果的に取り入れる。近代温泉地の隆盛を伝える町家である。	建築物	産業3次	1
	旧採進堂酒店土蔵		M28		建築物	産業3次	1
7	旧天田愚庵（あまたぐあん）邸	福島県いわき市	M33/S41移築	松ヶ岡公園に移築保存した歌人・天田愚庵の旧居。茅（かや）葺きの平屋建てで、皮付き柱を基調に端正にまとめつつ、座敷飾りは松と竹の丸太を用いて大仰につくる。近代の文人趣味を伝える数寄屋（すきや）建築。	建築物	住宅	2
8	旧強谷（すねや）織物工場	埼玉県秩父（ちちぶ）市	S5/S中期改修	市街地東北方にある旧絹織（けんしょく）工場。四連の鋸（のこぎり）屋根の木造平屋建てで、内部は一空間とし、各棟通りに柱を立て、トラスの小屋組を現す。絹産業で繁栄した近代秩父の様相を伝えている。	建築物	産業2次	1
9	栃谷（とちや）八坂神社舞台	埼玉県秩父市	M32/S25頃・H26改修	秩父盆地北部の神社にある地芝居（じしばい）舞台。寄棟造りの平屋建てで、正面は差物（さしも）のを通して開放する。舞台は表と裏に分け、裏に可動式の二重舞台を備える。秩父地方の神社附設舞台の希少な遺構。	建築物	文化福祉	2

	名 称	所在地	建 設 年 代	特 徴 等	種 別	基準	
10	上原家住宅書院	千葉県野田市	M中期/H5移築・改修	利根川と江戸川に挟まれた田園地帯の集落の元名主宅。書院は主屋東面に接続して建つ寄棟造りの平屋建てで、内部の座敷は床（とこ）と仏壇を前後に配した奥行1間の座敷飾りが上層農家の格式を示す。敷地西辺の中ほどに切妻造り二階建ての土蔵、その北側に切妻造り平屋建て、大谷石（おおやいし）造りの石蔵が残り、上層農家における土蔵のつくりを伝えている。表門は敷地南辺の中央に南面して建つ総ケヤキ造りの丁寧なつくりの一間薬医門で、明治期の戸長（こちょう）役場にふさわしい豪華な表構えを形成している。	建築物	住宅	2
	上原家住宅土蔵		M中期/H4移築・改修		建築物	住宅	2
	上原家住宅石蔵		T前期		建築物	住宅	1
	上原家住宅表門（おもてもん）		M中期/H25改修		工作物	住宅	1
11	旧九段（くだん）会館	東京都千代田区	S9/S32・同58・H30改修	内堀（うちぼり）通りに東面して建つ複合施設。軍人会館として競技設計1等案をもとに建てられた。通り沿いの外観は両端に城郭風の入母屋造り塔屋を戴く歴史主義の和風表現を基調に、要所にアール・デコの手法を取り入れる。九段下（くだんした）の街路景観の象徴的存在である。	建築物	その他	1
12	えちごトキめき鉄道二本木駅（にほんぎえき）駅舎	新潟県上越市	M43/S前期・H3頃改修	市南西部の山あいにある旧信越本線の旅客駅施設。駅舎は寄棟造りの平屋建てで、北半に待合室、南半に事務室等を設けて下屋（げや）をまわし、垂木鼻（たるきばな）下面に繰形（くりかた）、軒先に鼻隠しを付すなど明治末期の鉄道駅舎の様相を示す。駅舎の西側にある島式ホームの上屋は古レール2本を頭合わせで溶接して柱とし、頂部を内外に方杖（ほうづえ）状に曲げ、屋根を支える梁を受ける。ホーム上屋の南側には木造平屋建てのホーム待合所が建ち、戦前の典型的な駅景観を形成している。駅舎とホーム上屋の北端をつなぐ地下道及び上屋は鉄筋コンクリート造（ぞう）で、旧信越本線における戦前の地下道の希少な遺例である。駅舎の南側には備品等の収蔵庫である木造平屋建ての倉庫と、車内灯燃料油の保管庫である煉瓦造（れんがぞう）平屋建てのランプ小屋が残り、開業当初の駅施設の構成を伝えている。ホーム南方の本線脇にあるスイッチバック線の雪囲いは全長112メートルに及ぶ古レールの骨格の外側に木板を目透（めすか）しに張る。豪雪地帯に特化した駅施設である。	建築物	交通	2
	えちごトキめき鉄道二本木駅ホーム上屋（うわや）		S12/S50代改修		工作物	交通	1
	えちごトキめき鉄道二本木駅ホーム待合所		S10/S40代改修		建築物	交通	1
	えちごトキめき鉄道二本木駅地下道及び上屋		S17/S50代改修		土木	交通	1
	えちごトキめき鉄道二本木駅倉庫		M43/S50代改修		建築物	交通	1
	えちごトキめき鉄道二本木駅ランプ小屋		M43		建築物	交通	2
	えちごトキめき鉄道二本木駅スイッチバック線雪囲い		T11		土木	交通	1
13	吉江（よしえ）地区招魂社（しょうこんしゃ）（旧吉江小学校奉安殿）	富山県南砺（なんと）市	S5/S32移築	地区公園の一角に北面して建つ。石造で、切妻造り妻入りの正面にエンタシス付きの柱を立て、アーキトレーブとコーニスをまわす。西洋古典様式を取り入れた和洋折衷の上質なつくりで、戦前の奉安殿（ほうあんでん）の好例を示す。	建築物	学校	2
14	桂湯（かつらゆ）	富山県南砺市	S5頃/S37・同41・同52改修	旧城端町（じょうはなまち）中心部の元銭湯。東から脱衣場棟、浴場棟、住居棟を並べる。脱衣場棟は木造二階建ての正面銅板張りとし、階境（かいざかい）の蛇腹や軒の切妻破風などの洋風意匠が門前町の歴史的景観の彩りを添える。	建築物	文化福祉	1

	名 称	所在地	建 設 年 代	特 徴 等	種 別	基準	
15	富田家住宅味噌蔵	富山県南砺市	S前期	砺波（となみ）平野西端の安居寺（あんごじ）門前にある民家。味噌蔵は主屋北側に接続する土蔵造り平屋建てで、屋敷中心部の構えを引き立てる。主屋背面の石垣上には土蔵造り二階建ての南土蔵と北土蔵が並び建ち、背面の屋敷構えを重厚に整える。主屋正面に建つ長屋門は北を門口（もんぐち）、南を真壁（しんかべ）漆喰（しっくい）塗りの物置（ものおき）とし、門口の冠木（かぶき）上に縁形付きの出梁を並べるなど旧家の屋敷構えに厳かな趣（おもむき）を添える。主屋は平成16年に登録済。	建築物	住宅	1
	富田家住宅南土蔵		S前期		建築物	住宅	1
	富田家住宅北土蔵		M前期		建築物	住宅	1
	富田家住宅長屋門		E後期／E末期・S前期移築		建築物	住宅	1
16	金沢町家兼六（けんろく）	石川県金沢市	M21頃/S13改修	金沢駅南側を横切る金石（かないわ）街道に北面して建つ。切妻造り二階建てで、正面はパラペットを立ち上げ、モルタル大壁（おおかべ）洗い出し仕上げの洋風意匠で整える。昭和初期の趣向を伝える町家である。	建築物	住宅	1
17	川上（かわかみ）幼稚園園舎	石川県金沢市	T7頃／S40頃・H23改修	市街地南部の住宅地に建つ。木造二階建て、切妻造り妻入り、外壁下見板（したみいた）張りで、正面北端に玄関ポーチを突出する。近代住宅地の閑静な景観に調和し、地域に親しまれる。	建築物	学校	1
18	小松市立錦窯（にしきがま）展示館主屋	石川県小松市	S8頃／H10改修	小松旧市街にある陶工・徳田八十吉（とくだやそきち）の旧居兼陶房。主屋は前庭の奥に西面して建つ切妻造りの二階建てで、二階を上絵（うわえ）付けの作業場とする。窯納屋は主屋南側に建つ切妻造りの二階建てで、大小二基の錦窯を備える。九谷焼（くたにやき）窯元の暮らしを伝える近代和風住宅である。敷地東南隅には旧完成品収蔵庫である観音下石（かながそいし）造りの石蔵が建ち、屋敷奥の構えを引き締める。	建築物	産業2次	2
	小松市立錦窯展示館窯納屋		S8頃／H10改修		建築物	産業2次	1
	小松市立錦窯展示館石蔵		S40頃／H10改修		建築物	産業2次	1
19	旧下里（くだり）家住宅主屋	石川県小松市	E末期／M36改修	市南部の山村集落のもと農家主屋。切妻造り妻入りの二階建てで、表に土間、裏に田字形の室を配し、奥のジョウザの仏壇前に上段を備える。加賀地方上層農家の形式を伝える民家である。	建築物	住宅	2
20	まつ家別邸吉祥庵（旧米谷銀行安宅支店）	石川県小松市	M24／M26・H元改修	旧安宅町（あたかまち）にある北前船主（きたまえせんしゅ）の旧別邸で、銀行支店に長く使用された。切妻造りの平屋建てで、内部は改変があるが、南面土縁（つちえん）付きの続き間の座敷に当初の姿を残す。船主集落の景観を形成している。	建築物	住宅	1
21	旧森家住宅主屋	山梨県山梨市	T8／H30改修	市街地近郷に建つ。切妻造りの主体部と入母屋造りの座敷部からなり、主体部は二列四室の伝統的な平面とし、座敷部は式台（しきだい）玄関を備えるなど格式高くつくる。峡東（きょうとう）地域の民家の近代的な展開を示す。	建築物	住宅	2
22	旧昭和興業製糸場（せいしじょう）	長野県松本市	T14頃／H8移築	松本市歴史の里に移築保存した製糸場線糸所（そうしじょう）。切妻造りの平屋建てで、作業場四室を設ける。腰高（こしだか）の連続ガラス窓や棟（むね）全体に通した越屋根（こしやね）など、近代製糸業の主流であった座繰（ざぐり）工場の形式を伝える。	建築物	産業2次	2
23	旧北澤家住宅主屋	長野県大町（おおまち）市	嘉永2（1849）頃／M後期・S50代改修	市東部の山間にある集落の庄屋（しょうや）宅。寄棟造り茅葺き（鉄板葺き）の二階建てで、南面の東寄りに玄関、二階中央に縁を出す。西を土間とし、東奥に上質な座敷を設ける。山村景観の核を成す豪壮な民家。	建築物	住宅	1
24	大坪酒造店別邸	岐阜県飛騨市	T前期	旧神岡町（かみおかちょう）中心部にある酒造所奥に建つ。主屋と上座敷棟を対角に配し、両棟に数寄屋意匠の座敷飾りを備える。主座敷に円窓（まるまど）や下地窓（したじまど）を効果的に用いるなど、開放的かつ繊細なつくりの離れ座敷。	建築物	住宅	2

	名 称	所在地	建 設 年 代	特 徴 等	種 別	基準	
25	旧岩邊（いわなべ）家住宅主屋	静岡県静岡市	安政5（1858）頃／S7移築，S前期改修	旧蒲原宿（かんばらしゅく）西辺にあり，街道に北面して建つ主屋は切妻造りの平屋建てで，正面下屋に格子を並べる。東に土間を通し，西に二列に室を並べ，上手列前二室を座敷とする。近世蒲原宿の風情を伝える貴重な町家である。敷地中央に建つ寄棟造り平屋建ての離れは開放的かつ瀟洒（しょうしゃ）な意匠の離れ座敷，離れの北側に連なる寄棟造り二階建ての土蔵は二階を離れとつながる座敷として東面を掃出し窓とする，独特な形式の蔵座敷である。	建築物	住宅	1
	旧岩邊家住宅離れ		T後期		建築物	住宅	2
	旧岩邊家住宅土蔵		S2頃		建築物	住宅	1
26	方広寺（ほうこうじ）本堂	静岡県浜松市	T4／H22改修	浜松市街北西方の山あいにある臨濟宗（りんざいしゅう）方広寺派大本山（だいほんざん）。本堂は境内中心部に南面して建つ整形六間（ろくま）取りの方丈（ほうじょう）形式で，懸（かけ）造り状に張り出した正面の高欄（こうらん）付きの縁（えん）や入母屋造り棧瓦葺きの大屋根，三重虹梁大瓶束（さんじゅうこうりょうたいへいづか）の妻飾りなど大本山の威容を存分に示す。本堂の西面南端には向唐破風（むかいからはふ）本瓦葺きの勅使玄関を設け，本堂の表構えを格調高く整える。本堂の東面北端に役僧の詰所である東西棟（とうざいとう）入母屋造りの知客寮，本堂の東南方に南北棟（なんぼくとう）切妻造りの長大な大庫裡が並び建ち，境内中心部の壮大な景観を形成している。大庫裡は西面中央の唐破風（からはふ）玄関の左右に入母屋の突出部を付した特徴的な表構えをもつ。本堂の正面東寄りの高い玉石（たまいし）積み基壇（きだん）上に入母屋造り，袴腰（はかまごし）付きの鐘楼が建ち，本堂前広場で存在感を示す。大庫裡の東側には接客施設である入母屋造り二階建ての三笑閣が接続し，大本山にふさわしい広大な接客空間を構成している。また，大庫裡の北側には宗務総長の執務室である切妻造り平屋建ての宗務本院が渡り廊下を介して接続し，大本山の寺務空間の構成を伝えている。三笑閣の北方に建つ寄棟造り妻入りの行在所は新宿宿（あらいしゅく）本陣・飯田家の明治天皇行在所を移築した上質なつくりの書院建築，行在所東方の崖下に建つ入母屋造り妻入りの禅堂は土間四半（しはん）敷きの両側に畳敷きの高床（たかゆか）を設ける座禅道場で，禅宗寺院の構成要素となる附属建物である。観音堂は本堂西側に南面して建つ宝形（ほうぎょう）造りの堂宇で，小規模ながら均整の取れた外観が境内景観を引き締める。	建築物	宗教	1
	方広寺勅使玄関		T4／H22改修		建築物	宗教	1
	方広寺知客寮（しかりょう）		T4頃		建築物	宗教	1
	方広寺大庫裡（だいくり）		T前期／H2頃改修		建築物	宗教	1
	方広寺鐘楼		T11頃		建築物	宗教	1
	方広寺三笑閣（さんしょうかく）		T後期		建築物	宗教	1
	方広寺宗務本院		M中期		建築物	宗教	1
	方広寺行在所（あんざいしょ）		M元／M18移築・改修，S前期改修		建築物	宗教	2
	方広寺禅堂		S8		建築物	宗教	1
	方広寺観音堂		M中期		建築物	宗教	1
	方広寺開山堂（かいさんどう）		S10		建築物	宗教	1
	方広寺昭堂（しょうどう）		M中期		建築物	宗教	1
	方広寺勅使門		M40／S10改修		工作物	宗教	1
	方広寺半僧坊（はんそうぼう） 拜殿		M19		建築物	宗教	2
方広寺半僧坊真殿（しんでん）	M21	建築物	宗教	2			
方広寺札場	M21頃／S49頃改修	建築物	宗教	1			
方広寺神楽堂（かぐらどう）	M中期	建築物	宗教	1			
方広寺水屋	M26頃	工作物	宗教	1			

	名 称	所在地	建 設 年 代	特 徴 等	種 別	基準	
26	方広寺七尊菩薩堂（しちそんぼさつどう）拝殿	静岡県浜松市	T4頃	七尊菩薩堂拝殿は本堂南西方の沢を隔てた山腹に建つ切妻造り棧瓦葺きで、背面中央間を開放して覆い屋内の流（ながれ）造りの七尊菩薩堂を臨む。高い石垣上にあって境内南西部の景観の構成要素となっている。三重塔は七尊菩薩堂東方の山頂に建つ方三間（ほうさんげん）の本瓦葺きで、元京都府技手（ぎて）・安井樺次郎（やすいならじろう）の設計による古典的な和様の構成を見せる。山門は本堂南東方の沢沿いの参道の上に建つ入母屋造り本瓦葺きの三間一戸二重門（さんげんいっこにじゅうもん）、総門は山門南方の参道入口に建つ切妻造り棧瓦葺きの一間高麗門（いっけんこうらいもん）で、格式ある大本山の表構えを形成している。	建築物	宗教	1
	方広寺三重塔		T12/S中期増築, H11改修		建築物	宗教	1
	方広寺山門		S28		建築物	宗教	1
	方広寺総門		M中期		工作物	宗教	1
27	旧井上侯爵家熱海別邸（清光園）	静岡県熱海（あたみ）市	S前期/S60移築・改修	湯河原（ゆがわら）温泉の一角に建つ。寄棟造り二階建ての南東二面に開口を取り、丸太の垂木や二階室内に数寄屋意匠を取り入れ、一階に洋風意匠の居間を設ける。開放的で落ち着いた佇まいの旧別邸。	建築物	住宅	1
28	旧一志波瀬（いちしはぜ）郵便局	三重県津市	S6/S30頃・H29改修	波瀬川中流の集落中心部にある旧郵便局。道路に東面して建つ寄棟造り平屋建てで、正面南側に玄関を出し、下見板張りペンキ塗りの外壁に縦長窓を穿つ。地方の郵便局舎の様相を知る上で貴重な存在。	建築物	官公庁舎	2
29	旧山田郵便局電話分室	三重県伊勢市	T12/S60改修	伊勢神宮外宮前にある旧電話局。煉瓦造平屋建て、コの字形平面で、赤色の棧瓦葺き屋根に独特な形状の破風（はふ）や窓を付し、白色の大壁に縦長窓を並べる。通信省（ていしんしょう）技師・吉田鉄郎（よしだてつろう）が最初期に手がけた作品で、現存唯一の煉瓦造の電話局舎としても貴重。	建築物	官公庁舎	2
30	山中家住宅主屋	三重県名張（なばり）市	E末期/S59改修	市中心部の元宿屋。主屋は初瀬（はせ）街道に東面して建つツシ二階建てで、切妻造りの北棟と入母屋造りの南棟からなり、正面下屋上を白漆喰で軒裏まで塗り込める。近世宿場町の景観を伝える町家である。敷地北奥に建つ切妻造り二階建ての離れは、二階座敷の付書院（つけしょいん）や彫刻欄間（らんま）に趣向を凝らす良質なつくりの離れ座敷。主屋と離れの間に調度蔵の土蔵造り二階建ての北蔵、敷地南奥に穀物蔵の土蔵造り二階建ての南蔵が建ち、伊賀地方町家の伝統的な構成を伝えている。	建築物	住宅	1
	山中家住宅離れ		M前期/M中期改修		建築物	住宅	2
	山中家住宅北蔵（きたぐら）		E末期		建築物	住宅	1
	山中家住宅南蔵（みなみぐら）		E末期		建築物	住宅	1
31	熊野古道おもてなし館（旧朽尾家住宅店舗兼主屋）	三重県熊野市	M中期/H26改修	市中心部の元小間物問屋（こまものどんや）。熊野街道に北面して建つ切妻造りのツシ二階建てで、正面下屋上を黒漆喰塗りと中央に白漆喰枠の虫籠窓（むしこまど）を穿ち、東側に袖塀（そでべい）を付す。街道の歴史的景観を形成している。	建築物	産業3次	1
32	富田酒造主屋	滋賀県長浜市	延享元（1744）/天保3（1832）増築, E末期・S24頃改修	旧木之本宿（きのもとしゅく）中心部の室町後期創業と伝わる造り酒屋。街道に東面して建つ切妻造りのツシ二階建てで、大屋根前面を二段に重ねて南を落棟（おちむね）とし、北側に平屋建ての座敷棟を付す。輻輳（ふくそう）する屋根が街景観に威容を誇る大型町家。	建築物	産業2次	1
33	ダイコウ醤油主屋	滋賀県長浜市	E末期/M中期増築・改修	旧木之本宿南端で醸造業を営む商家。街道に東面して建つ切妻造りの二階建てで、正面は上下階に平格子（ひらごうし）を入れ、軒を出桁（だしげた）造りとし、二階両端に袖壁を付す。醸造業でも栄えた宿場町の景観を形成している。	建築物	産業2次	1

	名 称	所在地	建 設 年 代	特 徴 等	種 別	基準	
34	太郎坊宮阿賀神社（たろうぼうぐうあがじんじゃ）本殿	滋賀県東近江（ひがしおうみ）市	宝暦3（1753）/T13改修	東近江市街西方の赤神山（あかがみやま）にある神社で、本殿は岩峰南腹の僅かな平地に東面して建つ。一間社（いっけんしゃ）入母屋造り、正面千鳥破風、向拝軒唐破風付きで、木鼻（きばな）の獅子（しし）や獏（ばく）、手挟（たばさ）みの菊花（きっか）彫刻など要所を装飾する、丁寧なつくりの近世社殿である。本殿前には入母屋造り、正面向拝、背面幣殿（へいでん）付きの参拝所が建ち、本殿と一体化した複雑な屋根を形成し、岩肌に築かれた境内中心部の象徴的存在となっている。参拝所前面は懸造りの舞台を設けて広場とし、参拝所正面の石段下の岩壁にくい込むように入母屋造りの授与所が建ち、急峻な岩肌に立地する境内中心部の独特な景観を形成している。	建築物	宗教	2
	太郎坊宮阿賀神社参拝所		T13		建築物	宗教	1
	太郎坊宮阿賀神社舞台		M13/S23改修		工作物	宗教	1
	太郎坊宮阿賀神社授与所		M中期		建築物	宗教	1
	太郎坊宮阿賀神社拝殿		E末期		建築物	宗教	1
	太郎坊宮阿賀神社神楽殿		M中期		建築物	宗教	1
	太郎坊宮阿賀神社永安殿（えいあんでん）		M40		建築物	宗教	2
	太郎坊宮阿賀神社長楽殿（ちょうらくでん）		S5		建築物	宗教	1
	太郎坊宮阿賀神社祭器庫		S13		建築物	宗教	1
	太郎坊宮阿賀神社手水舎（てみずしゃ）		M44		工作物	宗教	1
	太郎坊宮阿賀神社銅鳥居		S32		工作物	宗教	1
	太郎坊宮阿賀神社絵馬殿		T14		建築物	宗教	2
	太郎坊宮阿賀神社不動明王拝所		S5		工作物	宗教	3
太郎坊宮阿賀神社中門（ちゅうもん）	S9	工作物	宗教	3			
太郎坊宮阿賀神社一の鳥居	M27	工作物	宗教	1			
35	旧近江銀行（おうみぎんこう）愛知川（えちがわ）支店	滋賀県愛荘町（あいしょうちょう）	T15頃/H30改修	旧愛知川宿（えちがわしゅく）中心部の旧銀行店舗。鉄筋コンクリート造平屋建てで、正面中央部を枠取って西洋古典様式基調の意匠で整える。県下最初期の鉄筋コンクリート造建築で、地域の近代化を象徴する存在。	建築物	産業3次	2
36	高田家住宅主屋	京都府京都市	S6	鴨川西岸の敷地に東面して建つ。寄棟造りの二階建てで、上下階とも中廊下で和洋室に分け、一階の北に応接間や食堂、南に座敷や仏間を配する。外観も南北で和洋意匠を使い分けた瀟洒な郊外住宅。	建築物	住宅	2
37	入江家住宅主屋	京都府京都市	E末期/T7頃増築、S10頃改修	妙心寺道（みょうしんじみち）に北面して建つ。東西2棟からなる切妻造り二階建てで、東棟は土間沿いに四室を並べ、西棟に数寄屋意匠の茶室と座敷を設ける。良質かつ伝統的な構えの町家である。	建築物	住宅	1
38	阿倍王子神社（あべおうじんじゃ）旧本殿	大阪府大阪市	M41/S43移築	市南部の熊野街道沿いにある神社。旧本殿は境内南辺の切石（きりいし）積み基壇上に建つ流造りで、縋破風（すがるはふ）の庇に軒唐破風を付す。側面中柱（なかばしら）が棟木（むなぎ）まで延びあがるなど簡素ながら特異なつくりの社殿である。葛之葉稲荷神社本殿は拝殿東側の覆い屋内に建つ入母屋造り檜皮（ひわだ）葺きで、向拝に軒唐破風を付す。全体を赤色塗りとして要所に極彩色を施（ほどこ）すなど小社ながら華麗な意匠の社殿である。	建築物	宗教	2
	阿倍王子神社葛之葉稲荷神社（くずのはいなりじんじゃ）本殿（旧男山八幡神社本殿）		E後期/M41・S44移築		建築物	宗教	2

	名 称	所在地	建 設 年 代	特 徴 等	種 別	基準	
39	安倍晴明神社（あべせいめいじんじゃ）本殿	大阪府大阪市	T13	市南部の熊野街道沿いにある神社。本殿は境内奥の切石積み基壇上に建つ一間社流造りで、大仏様（だいぶつよう）木鼻や中世風墓股（かえるまた）を用いて細部を古式に飾る。元奈良県技師・吉田種次郎（よしただたねじろう）の設計による技巧を凝らした近代社殿である。本殿前には入母屋造り、背面幣殿付きの拝殿が建ち、本殿の周囲を透塼で結界して本殿周辺の景観を格調高く整える。	建築物	宗教	2
	安倍晴明神社拝殿及び幣殿		T13		建築物	宗教	1
	安倍晴明神社透塼（すきべい）		T13		工作物	宗教	1
40	萩原家住宅主屋	大阪府八尾（やお）市	E後期／M9頃改修・T頃増築・H19・同30改修	恩智神社（おんぢじんじゃ）参道と東高野（ひがしこうや）街道の交差点にある元木綿商家。主屋は敷地前方の北端に東面して建つ。大和棟（やまとむね）で、北面を入母屋造り棧瓦葺きとし、正面に本瓦葺き下屋を通す。門前町の風格ある景観の核を成す民家である。主屋の正面南方に家財蔵である土蔵造り二階建て、本瓦葺きの巽蔵が建ち、主屋とともに門前町の歴史的景観を形成している。主屋背面には旧商品蔵である土蔵造り二階建ての木綿蔵や同じく土蔵造り二階建ての米蔵、真壁造平屋建ての納屋が建ち並び、高野街道沿い商家の伝統的な屋敷構えを形成している。主屋正面南半の前庭を矩折（かねお）れに区切る表門及び高塀は門の両脇を正面に突出してコの字形に屋根をかける独特なつくりで、表構えを格調高く整える。裏門は薬医門（やくいもん）形式で、米蔵と納屋の間に建ち、背面の屋敷構えを形成している。	建築物	住宅	1
	萩原家住宅巽蔵（たつみぐら）		E後期		建築物	住宅	1
	萩原家住宅木綿蔵（もめんぐ）		E後期		建築物	住宅	1
	萩原家住宅米蔵		M42		建築物	住宅	1
	萩原家住宅納屋		S前期		建築物	住宅	1
	萩原家住宅表門及び高塀		T前期		工作物	住宅	1
	萩原家住宅裏門		S前期		工作物	住宅	1
41	石田家住宅主屋	兵庫県宝塚市	T後期／S23増築、S30代改修	阪急雲雀丘花屋敷（ひばりがおかはなやしき）駅北側の住宅地にあり、主屋は南斜面の敷地中央に建つ。元茅葺きの平屋建てで、南面両端に座敷、東面中央に玄関を突出し、東北隅に洋風応接間を付す。敷地南面の街路に面して薬医門形式の屋敷門を開き、座敷や門を数寄屋風の意匠でまとめる。近代住宅地開発初期の様相を伝える和風住宅である。	建築物	住宅	1
	石田家住宅屋敷門		T後期		工作物	住宅	1
42	利生護国寺（りしょうごこくじ）山門	和歌山県橋本市	E中期	境内の南辺、本堂正面に開く切妻造り本瓦葺きの四脚門。門柱は円柱（まるばしら）、控え柱は面取り角柱（かくばしら）とし、控え柱上に実肘木（さねひじき）付きの連三斗（つれみつど）を備える。建ちが高く、古刹（こさつ）にふさわしい門構えをつくる。	工作物	宗教	1
43	三輪崎（みわさき）青年会館	和歌山県新宮（しんぐう）市	S2／H13改修	町中心部の目抜き通りにある集会施設。切妻造り妻入りの木造平屋建てで、正面妻に日の出の浮彫りを施し、両端の突出部にペディメントを載せる。三輪崎漁港の街路景観のランドマークとなっている。	建築物	文化福祉	1
44	岡家住宅主屋	和歌山県九度山町（くどやまちょう）	M4／H7改修	紀ノ川中流南岸の集落最上部に南面して建つ。主屋は建ちの高い入母屋造り棧瓦葺き、ツシ二階建てで、大棟に本瓦葺きの越屋根を載せるなど、量感ある外観が集落景観に威容を誇る大型民家である。主屋の西面前方に渡り廊下で接続する部屋は南北棟の入母屋造り平屋建てで、重厚な主屋と対照的な落ち着いた佇まいの離れ座敷。敷地北西隅には土蔵造り二階建ての西蔵及び米蔵が建ち、重厚な外観が背面の屋敷構えを引き締める。中門は主屋正面西半の主庭（しゅてい）を区切る端正なつくりの一間腕木門（いっけんうできもん）で、主屋正面の構えを格調高く整える。門屋は敷地東面南寄りに建つ入母屋造りの長屋門で、主屋と矩折れに並び建ち、堂々とした表構えを形成している。	建築物	住宅	1
	岡家住宅部屋		M後期		建築物	住宅	1
	岡家住宅西蔵及び米蔵		E末期／M後期増築		建築物	住宅	1
	岡家住宅中門（なかもん）		T前期		工作物	住宅	2
	岡家住宅門屋（もんや）		M4／H7改修	建築物	住宅	1	
45	旧禎原製鉄場角炉（かくろ）	島根県奥出雲町（おくいずもちょう）	S10／H4改修	町南部のたたら角炉伝承館にある銑鉄（せんてつ）用溶鉱炉。長方形平面の煉瓦積みで、長辺の表裏に投入口、短辺の表裏に出銑（しゅっせん）口と排滓（はいさい）口を設ける。山陰地方における近代製鉄技術の実態を示す貴重な遺構。	工作物	産業2次	2

	名 称	所在地	建設年代	特徴等	種 別	基準	
46	西大寺（さいだいじ）高祖堂	岡山県岡山市	安永9(1780)頃	吉井川下流西岸にある真言宗（しんごんしゅう）寺院。高祖堂は境内西北隅に建つ宝形造り本瓦葺きで、内部を一室として奥に須弥壇（しゅみだん）を置き、二重折上（おりあ）げ小組格天井（こぐみごうてんじょう）を張る。装飾を控えた格式の高いつくりを見せる三間堂である。経蔵は境内西南辺に建つ六角形平面の本瓦葺きで、正面に片流れの向拝を付す。内部は中央に総ケヤキ造り、禅宗様（ぜんしゅうよう）の八角輪蔵（りんぞう）を据え付ける。輪蔵を備えた六角経蔵の貴重な遺構である。仁王門は境内西面北寄りに建つ入母屋造り本瓦葺きの三間一戸楼門（ろうもん）で、正面両脇間（りょうわきま）の金剛柵（こんごうさく）後方に仁王像を安置する。精緻な大工技術を駆使した禅宗様で、規模雄大な楼門の好例を示す。石門は境内南面中央に建つ国内最大規模を誇る竜宮（りゅうぐう）造りの楼門で、屋根を入母屋造り本瓦葺き、下層を石造としてアーチ状の石梁（いしばり）を渡すなど豪壮なつくりを見せる。鐘楼門は境内を南北に区切る土堀中央に建つ入母屋造り本瓦葺きの一間楼門で、下層の正背面に虹梁を渡し、上層を正背三間として中央間を開放し、梵鐘（ぼんしょう）を吊る。江戸中期の境内の建築形式を伝える遺構である。	建築物	宗教	2
	西大寺経蔵（輪蔵）		嘉永7（1854）/T期移築		建築物	宗教	2
	西大寺仁王門		元文5（1740）頃		建築物	宗教	2
	西大寺石門（いしもん）		文政2(1819)		建築物	宗教	2
	西大寺鐘楼門		E中期		建築物	宗教	1
47	大浦神社（おおうらじんじゃ）本殿	岡山県浅口（あさくち）市	S2/H27改修	市南部の寄島町（よりしまちょう）中心部にある神社。本殿は境内後方の高い基壇上に建つ入母屋造り銅板葺き、正面千鳥破風、向拝一間軒唐破風付きで、臺股や木鼻に精巧な彫刻を施すなど端正な意匠でまとめた近代の大型社殿である。本殿前に入母屋造りの拝殿と祝詞殿を両下（りょうさげ）造りの幣殿でつなぐ権現造り風の祝詞殿、幣殿及び拝殿が建ち、厳かな社頭景観を演出する。境内東方に延びる参道入口に建つ鳥居は明神鳥居形式の均整の取れた外観で、参道景観の核を成し、参拝者に親しまれる。	建築物	宗教	2
	大浦神社祝詞殿（のりとでん）、幣殿及び拝殿		S2頃頃/H21改修		建築物	宗教	1
	大浦神社鳥居		S2		工作物	宗教	1
48	喜多（きた）薬店	徳島県三好（みよし）市	S15頃/S30頃増築	西祖谷（にしいや）中心部の日用雑貨店。街道に東面して建つ切妻造りの二階建てで、北を落棟とし、祖谷川に面する西側は懸造り状にして地階を設ける。街道沿いの歴史的景観を形成している。	建築物	産業3次	1
49	釣井（つるい）薬師堂	徳島県三好市	文久2（1862）/S33・H11改修	祖谷（いや）川上流の釣井集落にある宝形造りの三間堂。内部は板敷の一室で、正面側を吹放しとし、背面側に仏壇を設ける。祖谷溪の歴史的な集落景観の構成要素である。	建築物	宗教	1
50	簾庵（ちいおり）	徳島県三好市	E中期/H22改修	祖谷川上流の釣井集落の元農家主屋。東正面の寄棟造り茅葺きの平屋建てで、外壁をヒシャギ竹張りで養生する。見晴らしのよい山腹に建ち、山村集落の景観の核を成している。	建築物	住宅	1
51	河井百貨店	徳島県三好市	S9/S中期増築、S40代改修	東祖谷（ひがしいや）中心部の元日用雑貨店。街道に南面して建つ入母屋造りの二階建てで、西側に別棟を接続する。建ちが高く間口の広い大型町家で、街道沿いの歴史的景観の構成要素となっている。	建築物	産業3次	1
52	多田家住宅洋館（旧若衆宿）	徳島県海陽町（かいはうちょう）	T4/S55改修	旧海南町（かいはんちょう）中心部の海運業者宅にある旧若衆宿（わかしゅうやど）。寄棟造りの二階建てで、正面中央に入母屋の突出部を設ける。縦長窓にペディメントを飾るなど丁寧なつくりの洋風建築で、集落景観に存在感を示す。	建築物	住宅	1

	名 称	所在地	建 設 年 代	特 徴 等		基準	
53	松山城小天守（こてんしゅ）	愛媛県松山市	S42	松山城跡の天守曲輪（くるわ）を構成する復元建物。小天守は口字形平面の連立式天守東南隅に建つ入母屋造り本瓦葺きの二重二階櫓で、天守に次ぐ規模を誇り、天守中枢部の堂々たる構えを形成している。南隅櫓は連立式天守西南隅に建つ入母屋造り本瓦葺きの二重二階櫓で、外側の西北二面は下層の各隅に庇付きの石落（いしおと）しを付し、上層に高欄をまわすなど天守隅角部（ぐうかくぶ）の構成を示す。北隅櫓は南隅櫓と同形式の二重二階櫓で、連立式天守西北隅に建つ。天守西面の構えを左右対称に整えるとともに、多層建物が連なる天守の荘重（そうちょう）な景観を形成している。玄関多間櫓は北隅櫓の東側に接続して建つ入母屋造り本瓦葺きの一重多間櫓で、南に廊下を通し、北に一室を配する。南面西寄りに向唐破風本瓦葺きの玄関を接続し、天守玄関部の構成を示す。十間廊下は南隅櫓と北隅櫓をつなぐ両下造り本瓦葺きの一重多間櫓で、内部を一室とし、外側の西面に狭間（さま）を整然と並べる。天守防御の城郭構造の要衝となる建物である。小天守と南隅櫓をつなぐ多間櫓も同形式の十間廊下と同じく天守防御の城郭構造を示す。天守南側の小天守との間に両下造り本瓦葺き、一重櫓門の筋鉄門、同じく天守西側の玄関多間櫓との間にも両下造り本瓦葺き、一重櫓門の内門を設けて各枳形（ますがた）を構成し、天守の堅固な門構えを形成している。	建築物	文化福祉	1
	松山城南隅櫓（みなみすみやぐら）		S42		建築物	文化福祉	1
	松山城北隅櫓		S42		建築物	文化福祉	1
	松山城玄関多間櫓（たもんやぐら）		S42		建築物	文化福祉	1
	松山城玄関		S42		建築物	文化福祉	1
	松山城十間廊下（じゅっけんろうか）		S42		建築物	文化福祉	1
	松山城多間櫓		S42		建築物	文化福祉	1
	松山城筋鉄門（すじがねもん）		S42		工作物	文化福祉	1
	松山城内門（うちもん）		S42		工作物	文化福祉	1
54	料亭満佐（まさ）主屋棟	福岡県福岡市	S29	中洲（なかす）の一角にある明治27年創業の料亭。主屋棟是那珂川（なかがわ）沿いに西面して建つ入母屋造り及び切妻造り妻入りの二階建てで、正面北端に玄関を出す。外壁は聚楽（じゅらく）大壁で、各客室を異なる趣向の意匠で整える上質な新興数寄屋の料亭建築である。主屋棟南東方に建つ切妻造り平屋建ての離れ棟は座敷に月見台を設けるなど風流な趣をもつ離れ座敷。主屋棟背面に接続する切妻造り、寄棟造り及び入母屋造り二階建ての厨房棟は二階に応接間を設け、布張りの大壁や吹き寄せ竿縁（さおぶち）天井の埋込み照明など丁寧につくる。主屋棟東側に渡り廊下で接続する切妻造り平屋建ての新館棟も壁引込み式の欄間付き襖や横棧のみの障子など新興数寄屋の好例を示す。敷地境は鉄筋コンクリート造の表門及び塀で区切り、老舗（しにせ）料亭の風格ある店構えを形成している。	建築物	産業3次	2
	料亭満佐離れ棟		S29/S30代増築		建築物	産業3次	2
	料亭満佐厨房棟		S29		建築物	産業3次	1
	料亭満佐新館棟		S36		建築物	産業3次	2
	料亭満佐表門及び塀		S29		工作物	産業3次	1
55	日本福音（にほんふくいん）ルーテル久留米教会礼拝堂	福岡県久留米市	T7/S25・同29改修	市中心部にあるウィリアム・メレル・ヴォーリズ設計のプロテスタント教会。礼拝堂は煉瓦造、急勾配の東西棟の切妻造りで、東北隅の鐘楼北面に玄関を設ける。内部はシザーズ・トラスをかけ、柱のない礼拝空間をつくる。合理的な平面構成や丁寧な仕上げがヴォーリズ初期の設計活動の特徴をよく示す。敷地北面の街路沿いを区切る煉瓦塀は礼拝堂と調和し、整然とした表構えを形成している。	建築物	宗教	2
	日本福音ルーテル久留米教会煉瓦塀		S2頃		工作物	宗教	1
56	草伝社（そうでんしゃ）（旧井手家住宅）店舗兼主屋	佐賀県唐津（からつ）市	M後期/T後期・S中期・H24改修	市東部旧徳須宿（とくすえしゅく）の元商家。店舗兼主屋は路地に西面して建つ切妻造りの二階建てで、北に土間、南に二列四室を配し、南側の別棟に続き間の座敷を設ける。二階は一空間の倉庫とする。店舗兼主屋北側に東西棟の切妻造り二階建ての倉庫が並んで建つ。宿場町の景観を伝える大型町家である。	建築物	産業3次	1
	草伝社（旧井手家住宅）倉庫		M後期/S前期・H21改修		建築物	産業3次	1

注

建設年代：Eは江戸，Mは明治，Tは大正，Sは昭和，Hは平成の略。

種別：土木は土木構造物，工作物はその他工作物の略。

基準：1は国土の歴史的景観に寄与しているもの，2は造形の規範となっているもの，3は再現することが容易でないもの。